

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		HARUときわ		公表日		2025年 6月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	適切に確保できています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	適切に確保できています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	手すりやスロープ、点字ブロックなどを付けて対応しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	適切に確保できています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	適切に確保できています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	月1~2回ミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向けのアンケートを行い、意向確認し、支援しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	活動や遊び等の振り返りを行いながら、日々業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		行えていないので今後検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	毎月最初のミーティング時にテーマを決めて研修を行ったり、オンライン動画研修サービスを活用しています。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	事業所のHPで公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者、児童のニーズをアンケート形式にし定期的に行い把握、作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリングやアセスメント会議を通じて、複数の職員の意見交換を行なっています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	適切に支援を行なっています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	標準化されたツールや日々の記録を使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	適切に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	正規職員が中心となり立案、作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	新しい遊びや学年に応じたプログラムを継続していきます。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	児童の状況に合わせて個別、集団活動のテーマを考え、作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	職員が揃ってから、役割分担の確認、児童の情報、状態の情報共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	6	支援終了後、職員全員で振り返り、その都度報告・相談しています。	個別で振り返りをしているため、その都度の全体での振り返りの場を設けます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	共有するためのノートを作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6か月に一度モニタリング、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	様々な活動を組み合わせで行っています。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	適切に行っています。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者または児童発達管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	適切に体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	保護者様と協力して、各学校との支援担当や担任の先生と情報共有し連携しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	児童発達支援事業所を訪問し、情報共有を行っています。特に児童相談所が関わりのあるケースは密に行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		現在、該当者がいませんが今後体制を整えていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	連携を図り、研修の機会があれば参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		現在交流がないため、機会を設けられるように検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日頃から保護者様とコミュニケーションを取りながら情報共有しやすい関係作りに努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	年2回、対面で行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に必ず、説明を行っております。利用料金に関しては受給者証に定められた金額以外頂いていないのでトラブルはありません。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントツールを用いて、意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画書に沿って説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談を受けた際は個別に面談の機会を設け、助言やサポートを行い適切に応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		行えていないので課題としています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情、相談処理マニュアルを作成しています。それに基づき迅速に対応し報告書を作成、その日の内に解決できるよう保護者様へ対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的にHP内のブログを更新し、日々の児童の様子や行事を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の取り扱いについて指導したり、鍵付きの場所にて保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	ルールや予定など分かりやすいように絵カードにて伝えるよう工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域住民参加の行事は行えていないので、今後の課題にしていきます。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	職員への周知は十分ですが、保護者様への周知が不十分な点があるので周知に努めます。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	年に2回消防、避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメントツールを用いて確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	保護者を通じて医師の指示書に基づく対応を伝えていただき、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	適切に行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	取り組み内容をお便りにし、適切に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	その都度、事例・情報を共有して、怪我・事故の再発防止に気を付けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	年に1回虐待防止に関する研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	十分に説明をしています。身体拘束は行っていません。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HARUときわ		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 22日		～ 2025年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 5月 22日		～ 2025年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・デイルームが広く、目的によって空間を仕切ることが出来る。	・学習している子どもたちが集中出来るように、遊んでいる子ども達に適切な声量を意識するよう繰り返し声掛けを行っている。	・空間を有効活用できる活動の企画立案、より集中しやすくなるような方法について職員間でアイデアを出し合う。
2	・一日の活動等の枠組みが曜日毎に固定化されているため、子どもが見通しを持って過ごしやすい、ルーティン化することでメリハリのついた過ごし出来る。	・1日の流れを絵カードで掲示したり、送迎時に流れの説明や活動と活動の切り替え時にこまめに声掛けしながら、子どもたちが混乱しないように配慮している。	・経験の幅を広げたり、モチベーションの維持へ繋がるように、又、固定化することでマンネリ化してしまうため、定期的に活動内容の見直しを行っている。
3	・全職員がどの家庭の保護者とも関わりを持ちやすい環境作りを行っている。	・毎日の送迎での申し送りで子どもの様子について密に情報共有を行ったり、定期的に電話や面談の機会を設けて、学校や家庭での様子を共有したり、小さな悩みや不安等を相談しやすい関係性の構築・維持を大切にしている。	・現状では保護者と密に連携を取れているが、子どもの成長に合わせて保護者のニーズや現状も変化していくので、より一層保護者や職員間でコミュニケーションを取り、ニーズと支援にズレが生じないようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所からの情報発信が少ない。	・様々なPRが少なかった。	・日頃の様子や活動等の取り組みについて、事業所から発信していく。
2	・他の児童や地域の子どもの交流やイベントに参加出来ていない。	・スケジュールが少ない。	・スケジュールが合った交流やイベントについては積極的に参加していく。
3			